

女子大生の92%が、日常生活で「性的な嫌がらせや性差別」を経験したり見たりしたことがあると回答

報道関係者各位

ガールスカウト日本連盟（東京都渋谷区 代表：和田照子）は、大学生年代の女子ユースチームによる『女子大学生×ジェンダー調査報告書2020』を公開しました。

4人のユースチームが実施

この報告書は、「女子大学生（18歳から25歳）のジェンダーに関する現状はどうなっているのか」と疑問を持ったユースチームが実施した、ジェンダーに関する調査をまとめたものです。

「女子大学生」はジェンダーに基づく差別や暴力をどの程度経験しているのか。社会やメディアから、どのようなメッセージを受けているのか。就職や結婚などのライフイベントに関する意識をまとめました。

調査対象：全国47都道府県の大学生年代の女性（18～25歳）

※今回の調査対象全体を「女子大学生」として表記しています。

回答数：536人（ガールスカウト会員216人・元会員37人・一般283人）

調査方法：インターネット回答 全40問（選択30問、記述10問）

調査期間：2019年12月6日～2020年1月17日



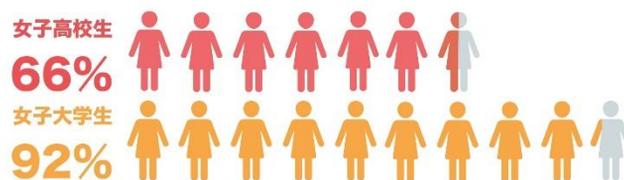
<調査報告より>

性的な嫌がらせや性差別を経験・見ることがある

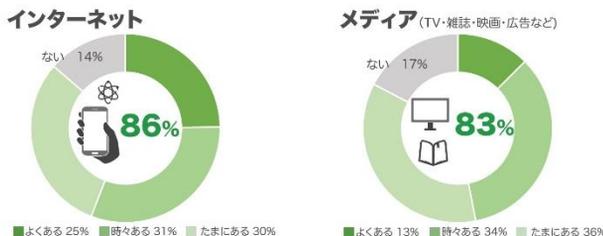
日常生活の中で起こる「性的な嫌がらせや性差別」については、2019年にリリースした「女子高校生調査」と比較したところ、女子高校生を大きく上回る結果が明らかになりました。

性的嫌がらせを受けたり見たりする場としては、インターネットとメディアが80%以上ありました。

▶ 普段の生活で、性的な嫌がらせや差別を経験したり見たりする 女子高校生 n=524 女子大学生 n=536



▶ 普段の生活で、性的な嫌がらせや差別を経験したり見たりする



■ 報告書ダウンロード

[『女子大学生×ジェンダー調査報告書2020』](#)

■ ご購入

1) 「女子大学生×ジェンダー調査報告書2020」

価格：1,100円（税込）

2) 「女子高校生調査報告書2019」

価格：880円（税込）

[ご注文申込](#) ※送料実費、冊数により送付方法が異なります。